

令和5年度第2回 高浜市総合教育会議 議事録
開会日時 令和5年10月19日(木)午後2時30分
閉会日時 令和5年10月19日(木)午後3時25分
場 所 いきいき広場3階旧校長室

■ 出席者

市長	吉岡 初浩
教育委員会 教育長	岡本 竜生
教育委員会 教育長職務代理者	磯貝 政博
教育委員会 委員	後藤 恵理
教育委員会 委員	加藤 洋子
教育委員会 委員	岩月 昇治

■ 会議構成員以外の出席者及び事務局

学校経営グループリーダー	内藤 克己
学校経営グループ主幹	小嶋 俊明

■ 傍聴者 0名

1 市長挨拶

○吉岡市長

皆様、こんにちは。令和5年度第2回目の総合教育会議にご参加をいただきましてありがとうございます。教育委員会でも話題になったかと思いますが、現在、小中学校ではインフルエンザが流行っています。コロナ禍でマスクを着けた生活が続いた影響を受けているのではないかと思います。世界において英語が標準的に使われており、教育現場においてもリカレント教育だとか、リスキリングだとか横文字が飛び交っています。英語について翻訳機能アプリなど世の中にどんどん増えてきており、今から英語を学ぶ必要はないのではという考えも増えているという話も聞きます。しかし、義務教育においては、そういう波に飲み込まれることのないように先生からご指導いただきながら、高浜の教育を進めていっていただきたいと思います。今日はどうぞよろしくお願いいたします。

2 議題

(1)令和5年度いじめに関わる学校生活アンケート結果(前期)について

○吉岡市長

(1)令和5年度いじめに関わる学校生活アンケート結果(前期)についてを議題といたします。学校経営グループから説明をお願いします。

○学校経営グループ主幹

資料1により、令和5年度いじめに関わる学校生活アンケート結果(前期)について説明

○吉岡市長

ありがとうございました。それでは、ご質問等ありましたらお願いします。

○磯貝毅委員

学年のグループラインの話がありましたが、学校でつくっているのか、それとも自発的なんでしょうか。

○学校経営グループ主幹

自発的です。子どもたちが親の目の届かないところでグループラインをつくっているという現状が分かったということです。

○磯貝毅委員

驚きますね。こういったところまで学校側が目届かせるというのは現実的に難しいですね。

○後藤恵理委員

グループラインをつくっていたという学年は分かっているのでしょうか。

○学校経営グループ主幹

高学年です。

○後藤恵理委員

アンケートは紙で行っているのですか。

○学校経営グループ主幹

紙で配って行っています。

○吉岡市長

アンケートを配る際に、先生から何か説明を加えたりしているのでしょうか。

○学校経営グループ主幹

何のためにアンケートを行うのか、趣旨説明はしっかり行っていますし、包み隠さず記入してほしい旨もしっかり伝えています。

○岡本教育長

アンケートの実施方法については、以前磯貝委員からもご指摘いただいたように、封筒を使って、いったんは家に持って帰りアンケートを記入し、また封筒に入れて提出するようにしっかり伝えています。ただ、小学校低学年については、教室でアンケート用紙を配っただけでは子どもたちがうまく答えを記入できないので、先生が説明をしながら、1つ1つやっていく場合もあります。アンケートの数字も重要ですが、それ以上に記入された個別の事例をしっかり確認し、対応していくことが重要であると考えています。

○吉岡市長

中学校はアンケートの数字が低くなっているように思いますが。

○岡本教育長

成長するにしたがって考える力も付いてくるし、いじめに対する考え方が学級や学年で理解されるようになってくるのが大きな要因だと思います。

(2)教員の在校等時間の状況調査結果(4月～9月)について

○吉岡市長

続きまして、(2)教員の在校等時間の状況調査結果(4月～9月)についてを議題といた

します。学校経営グループから説明をお願いします。

○学校経営グループ主幹

資料2により、教員の在校等時間の状況調査結果(4月～9月)について説明

○吉岡市長

ありがとうございました。それでは、ご質問等ありましたらお願いします。

○吉岡市長

新聞などでは、「部活動のあり方を改革し、先生の負担を軽くする」ということが書かれていたりしていますが、実際はいろいろな問題があるのではないかと思います。

○岡本教育長

さまざまな角度から考える必要がありますので本当に難しい問題だと思います。ただ、本質は教員の働き方改革です。土日の部活動を地域にお願いして働く時間を減らすことに焦点が行きがちですが、本当に減らすべきは平日の時間であると考えています。平日の働く時間が減らせられれば、先生たちは土日は元気を保てます。平日疲れ果ててしまえば土日の元気はありません。そこに部活が加わると本当にたいへんです。ですから、平日の部活のあり方を見直すことが最も重要だと考えます。高浜ではこれを実施しています。このことが功を奏して、教員が働きやすくなり、男性教員が仕事が終わってから保育園に子どもを迎えに行くという事例もでてきています。以前は考えられなかったことだと思います。部活動を地域へ地域へということばかり言われがちですが、部活動を学校で実施している意義も非常に大きいと考えます。部活動は教育的配慮の下で行っています。子どもの多くは、学校でやるから、友達と一緒にやるから、この先生と一緒にやるからという理由で部活をやりたいと思っています。そんな思いを持っている子が集まる部活を地域に移すことは簡単ではないと思います。

○後藤委員

小学生や中学生の頃に将来先生になりたいという夢を抱いて先生を目指す人が多いと思いますが、先生の現状を見て苦労が多そうだからとフタをしてしまう人が出てきてしまうことが非常に残念に思います。

○岡本教育長

やはり、やりがいだと思います。先生からやりがいを除いたら仕事へのモチベーションが大きく低下するのではないかと思います。

○磯貝委員

ただ、上場企業はだいたい残業時間が月45時間以内になっています。若い人たちはやりがいだけでは選ばなくなってきているので、先生を目指す人も減ってきている一因になっているのではないのでしょうか。良い人材も他を選び、相対的に教育部門のクオリティも下がってしまわないか懸念します。

○岡本教育長

多くの教員志望者は自分の子ども時代の学校生活とか、先生とのつながり・つきあいとかを胸に抱いて先生を選んでいると思います。そこがなくなってしまうたら、先生を

目指す人は大きく減ってしまうと思います。会社の理論はそのまま学校には当てはまらないと思っています。とはいえ、残業時間がかさみ心身に不調をきたす先生がいるのも事実ですので、今後も残業時間の削減についてはしっかり取り組む必要があります。今日、高浜中学校のスポーツ大会がありました。子どもたちが喜んで参加している姿を見られて本当に良かったですが、先生も子どもたちと一緒に楽しくしている様子を見られて嬉しかったです。

○後藤委員

スポーツ大会で放送機器のトラブルが発生し、応援団の演舞の時に曲が流れませんでした。流れるまでに15分くらいかかってしまいました。その間子どもたちが場を盛り上げていました。1度だけでなく、2度、3度と湧き上がって、先生たちが慌てているところを子どもたちがフォローしている様子を見て、子どもたちの成長を感じました。昨日、今日であそこまではできないと思いました。また、長縄のクラス対抗競技で、アナウンスしていた女の子が、「誰かが引っかかって止まったことを責めるのではなく、そういう子を励ましあうための競技です」と言うのを聞いて、原稿があるとは思えず、すごく感動しました。可能であれば多くの人に観ていただきたいと感じました。

○吉岡市長

高浜市職員で子どもが生まれた男性職員の育休取得率は、現在5割を超えています。

○後藤委員

そういうイメージがなければいけないと思います。働きやすい職場を目指す上で重要だと思います。

(3)その他

○吉岡市長

委員の皆様から、お聞きになりたいことなどがありましたらご発言ください。

(特に質問なし)

○吉岡市長

岩月委員におうかがいしますが、現在、新型コロナの状況はどのような状況でしょうか。圧倒的にインフルエンザの方が流行っていると思いますが。

○岩月委員

圧倒的にインフルエンザ A 型なんですけど、今日新型コロナも出始めまして、コロナもなならない状況です。コロナの患者は大人だったので、職場でウイルスが広がり出すと患者も増えるのではないかと懸念しています。

○吉岡市長

他にも、子どもさんの方でアデノウイルスとか、ヘルパンギーナとかありますが、そういった患者も出ているんでしょうか。

○岩月委員

アデノウイルスは小さい子が結構罹っているようです。

○岡本教育長

現在流行っているのはインフルエンザ A 型というお話がありましたが、A 型が落ち着いた後に B 型が流行る可能性はあるのでしょうか。

○岩月委員

ここ数年インフルエンザ自体が流行らなかったため何とも言えませんが、今後 B 型が流行る可能性はあると思います。

○吉岡市長

以上ですべての議事を終了しましたので閉会とさせていただきます。本日はありがとうございました。